

國風尊號

勅近江崇福寺者、天智天皇之創建也、略中本願天皇、宇之遠祖大廟也、予末小子何不祇承、中寬平二年歲次庚戌十二月四日、散位正五位下菅原道奉勅記、

○按ズルニ、江家次第抄國忌條ニハ、天智天皇ヲ太祖トシ、光仁天皇ヲ中祖トシ、光仁天皇ヲ中祖トシ、光仁天皇ヲ中祖トシ、山陵篇荷前條ニ引載セリ、參看スベシ、

〔日本書紀神代〕一書曰、狹野尊神亦號神日本磐余彥尊、所稱狹野者、是年少時之號也、後撥平天下、奄有八洲、故復加號曰神日本磐余彥尊、

〔日本書紀神武〕辛酉年正月庚辰朔、天皇即位於橿原宮、中古語稱之曰、於畝傍之橿原也、太立宮柱於底磐之根、峻峙搏風於高天之原、而始馭天下之天皇、曰神日本磐余彥火火出見天皇焉、

〔日本書紀孝德〕大化三年四月壬午、詔曰、中自始治國皇祖神之時、天下大同、都無彼此者也、

〔日本書紀安寧〕三年正月壬午、立淳名底仲媛命爲皇后、先是后生二皇子、中第二曰大日本彥耜友天皇、德懿

〔日本書紀孝昭〕二十九年正月丙午、立世襲足媛爲皇后、后生中日本足彥國押人天皇、孝

〔日本書紀孝安〕二十六年二月壬寅、立姪押媛爲皇后、后生大日本根子彥太瓊天皇、靈孝

〔古事記傳二十一〕根子は尊稱にて、景行天皇の御子にも、倭根子命と申すあり、凡人にも、記中に難波根子、書紀神功卷に、山背根子など云名見えたり、天皇は大倭國をろしめすを以て、倭根子とは申し奉るなり、略中すべて御代々々の天皇の御通號となりて、詔命などにも、みな倭根子天皇と申し奉ることなり、

〔日本書紀孝靈〕二年二月丙寅、立細媛命爲皇后、后生大日本根子彥國牽天皇、孝三十六年正月己亥朔、立彥國牽尊爲皇太子、

〔續日本後紀仁明〕承和九年十二月癸酉、右京人參議從三位兼越中守勳六等朝野宿禰鹿取、男女